

公表:2023年3月31日

事業所名:プティ倶楽部2号館

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個室もあり、一人あたり4㎡以上のスペースは確保できています。(最低基準は一人あたり2.47㎡) 児童の学年が上がるとともに今後、狭く感じることもあると思いますが、活動内容や家具などの配置を工夫して安全に過ごせるようスペースを確保していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			現状は児童2人に対して1人の指導員を配置しています。 新規利用児童の状況により今後、専門職の配置も検討してまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		事業所が2階の為、昇降時は安全に留意しています。室内は危険なものが倒れないようにと少しづつ設備を整えています。また、段差などつまずきそうなスペースをフラットにして対応しております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎朝、朝礼時や会議の際に実施しております。非常勤勤務のスタッフに関しては書面に残し、必要に応じて口頭で説明を行い、皆が周知できるようにして対応しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様からの評価表を会議の場で共有し業務改善を行っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			会社のホームページに公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			現状は第三者による評価を行っていませんが、検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定例会議で法定研修の他、その時必要な研修を行っています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様と面談を行った内容を会議や朝礼時に共有し、意見を出し合い計画に反映しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		現状では、利用児童全員分のアセスメントシートを毎年更新し記入しています。 標準化されたアセスメントツールの導入を検討しています。
適切な 支援の 提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			各担当スタッフが会議の場などで意見を収集し、管理者と連携して作成しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節の行事や制作を取り入れ、長期休みには様々な体験を積めるように工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は時間配分を考え、制作や近所の公園、室内遊び、微細運動などを中心に活動し、長期休暇の時は季節に応じた課外活動やおやつレクなど様々な体験を積めるよう、目標を決め支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの特性やその日の体調面などを踏まえ、個別活動や集団活動を組み合わせを行っています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼時に打ち合わせを行い活動内容の見直しや、役割分担など細かく決め実施しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日のうちに振り返りや事故等なかったかなど話し合いを行い、翌朝にもう一度出来事についての振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎朝、朝礼時に支援内容や活動内容、振り返りを話し合い、記録をとっています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			支援計画の見直し時期に合わせて、モニタリングを実施し、計画の見直しについて話し合いを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインの内容を組み合わせ合わせて様々な活動内容を盛り込んでいます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		現状、コロナの影響もあり参加の機会が少ないですが、相談支援専門員と密に電話連絡を取り情報共有しています。主に児童発達支援管理責任者や管理者が参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			必要に応じて児童の学校での様子やプティ利用時の様子を相談させていただいております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現状、対象となる児童がいないため連絡態勢は整えていませんが、必要に応じて整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			現状、対応できていませんが、ご家族を通して情報共有はさせていただいております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		対象となる児童がいないため、今後必要に応じて対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		区で行っている研修などで各専門機関との話し合いなどには積極的に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		公園などへ出かけた際、時々接する機会はあるが、計画を立てての交流は出来ていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			区開催の連絡会には積極的に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者様との面談時や送迎の際、また必要に応じて電話での対応をおこない、出来事等を伝えていきます。その際は、問題やこれからの目標など細かいことまで話し、共通理解に努めています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		日々の申し送りや面談の中で相談、助言等行っていけるようにしています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際や法改正があった際、丁寧に分かりやすく説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			電話連絡や個別での面談を行い、保護者様の悩みに寄り添いながら対応を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		コロナ禍で思うように実施できていませんでしたが、皆様のご理解の元、初めての保護者会を開催することが出来ました。今後も保護者会やイベント行事を通して連携を図れるように計画的に実施していきたいと思っております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった際は迅速に対応させていただいております。職員間でも情報共有し再発防止に努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、書面でお便りやプログラム、写真を配布し情報を発信しています。システムでは携帯で活動記録や研修の内容を共有できるよう発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の研修を行い、取り扱いに最善の注意を行っております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時や直接電話での対応を行ったり、システムの連絡帳を使いできる限り配慮をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナの影響もあり実施できていません。今後検討していきたいと思っております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			研修の際はマニュアルを用いており、ご家族様への周知は携帯で閲覧できるようにしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回、子供たちと行っています。水害や火災、地震を想定した訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に1回の研修の他、必要時に虐待研修を行っています。また、朝礼時等に不適切であろう支援について、スタッフ皆で話し合いを行っています。他、年に一度、虐待防止委員会・身体拘束適性化検討委員会を開催し、各事業所の具体的な事例を共有し合い、防止策や改善方法を検討しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			法人として、身体拘束に関する指針を作成し事務所に掲示しています。また、身体拘束を行うことは想定していない為、計画書に記載はしていません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時や、アセスメント更新時にご家族より聴取し確認しております。医師の指示書が必要な児童は現状はおりません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎月の会議や朝礼時などにヒヤリハットの振り返りを実施しています。